

地区社協だより 【第17号】

潮田中央地区社会福祉協議会事務局

*平成25年 9月～26年 3月までの活動の一部です。

発行 平成26年 3月 吉日

発行者 立花 清高

編集者 杉浦 日出夫

岩田 勝美

◆ 出前福祉講座開催 ◆

H25/11/1 (金)

講座開会の挨拶をする
立花会長。

今回の講座内容は“認知症サポーター養成講座”です。私には関係ない！などと言わず、誰にでも起こる可能性のある病気です。思いがけない行動や反応のため誤解や偏見を受けたり、虐待や悪質商法などの被害にあうことも少なくありません。万が一、身近の方が認知症になったとしても、今までどおり地域で安心して暮らせる町づくりを一緒に考えました。

受付風景です。忙しいなか、沢山の人が参加されました。



紙芝居で認知症のいろいろな症状の説明をしています。

寸劇でわかり易く認知症の診断風景を演じています！

ケアプラザの松本コーディネーター。講座のポイントを説明をしています。

◆ 恒例の合同茶話会を開催しました！ ◆

H25/11/24 (日)

秋晴れに恵まれとても気持ちのよい日和のなか72名の参加のもと盛大に茶話会が開催されました。会場はいつもの潮田神社の社務所です。来賓には、鶴見区社協の内藤主事・ケアプラザから岡部所長も出席され、会場は賑やかに、そして楽しい和やかなひと時が過ごせました。



受付を担当する役員の皆様です。茶話会開始の11時には予定をしていた方のほぼ全員が集まりました。

当番町会の栄町睦会の婦人部の皆様です。各テーブルに配膳等準備に忙しそう！！ また、事前の食材の手配等大変お世話になりました！





アトラクションは大正琴で大いに盛り上がりました！懐かしい曲、誰もが口ずさめる歌など、飛び入りの方も出て、大盛り上がりでした。



大正琴を演奏するミニアンサンブル大正琴春紫会のメンバー6名です。演奏の曲目は全14曲で懐かしい歌、歌えなくとも聞き覚えのある楽曲ばかりです。

乾杯の発声をする岩田会計部長。乾杯の前にしっかりと賛助会費の説明をしています。



飛び入り参加で大正琴に合わせて踊りを披露していただきました。また、名演奏のもと自慢の喉を披露していただきました！



◆ 社会を明るくする運動ミニ集会 ◆

H25/ 7/12(金)



7月12日(金) 潮田公園コミュニティーハウスにて潮田中央地区連合会、地区社協、保護司合同によるミニ集会を開催しました。

鶴警生安課より区内における犯罪事案についてのお話をいただきました。依然として跡を絶たない薬物事案や、振込めサギ、スマホサイトなどによる子供たちが犯罪に巻き込まれ被害に遭うケースなどこれらに対して地域住民がいかに対応していけばよいか改めて考えるととても有意義な集会でした。

◆ あいねっと 地区フォーラムを開催しました。 ◆

H25/12/13(金)



“地域で築こう見守りの輪”を合言葉に潮田公園コミュニティーハウスで、フォーラムを開催しました。

最近では隣近所でもほとんど話したことがない人が増えてきました。災害時などの緊急なときなどは特に、まわりに手助けがないと行動ができない人がいるかもしれません。

今回は顔が見える関係づくりをテーマとし、災害時にどのように助けあったらよいか他の地域の活動を参考に、こうした疑問や悩みをみんなで話し合いました。

42名の参加のもと、とても参考になりました。

賛助会員加入のお礼！

本年度も大勢の方に加入をいただき、お蔭様で福祉活動を活発に行うことができます。

潮田中央地区合計では465,000円の会費が徴収できました。このうちの55%が地元地区社協に還元され、福祉活動の資金となります。無駄の無いよう有効に活用させていただきます。有難うございました。